



南島原市国際交流員

フランチのプレフェリート♥南島原 「相互理解」

※「プレフェリート」とは、イタリア語で「おすすめ」という意味です。



国際化が進んでいる中、日本に移住する外国人が増えてきています。

私は長く日本に住んでいますが、私の経験で感じたことを日本の皆さんや日本在住外国人の皆さんへ話したいと思えます。

来日する外国人に対してほとんどの日本人は心温かく歓迎し、相手に興味をもって親切に接してくれます。また、「顔が小さくて可愛い」、「足が長くてうらやましい」、「鼻が高くて綺麗」などという表現を使って私たち外国人の外観をよく褒めてくれます。でも、母国イタリアでは「鼻が高い」というのは、褒め言葉ではないので嬉しくありません。しかし、日本人はそういった言葉を悪い意味で言うてはいないと私は分かっているので、ありがたい言葉として受け取っています。

また、「箸を上手に使えるね」、「納豆も食べられるの？すごい!」と日本文化に馴染んでいることに喜びを表してくれます。この褒め言葉は、初めて来日する外国人なら聞いて喜ぶはず。

しかし、何年も日本に住んでいる外国人の友達から、「頻りにそのようなことを言われたら逆に悲しくなる」という話をよく聞きます。どんなに長く日本に住んでいても、また、どんなに日本文化を吸収し、身に付けていても結局認められていないんだ…と感じるようです。日本を愛し、日本文化に溶け込んでいても「私はこの国に馴染んでいない」とか、「日本人と違ってその一員として認められていない」という孤独を感じている外国人は多いと思います。

そこで、私は日本在住の外国人には、「日本文化に慣れていることを認めて喜んでくれるからこそ日本人は褒めているんだよ!」と伝えたいです。

また、日本人の皆さんには、「外国人はその褒め言葉が逆に悲しい気持ちにさせることがありますよ」と伝えたいです。

私は、お互いの国の文化を理解し合い、歩み寄ることにより一層上手に付き合うことができると思います。皆さん(日本人も外国人も)ご協力をお願いします。

つなごう未来へ!
島原半島ユネスコ世界ジオパーク

ジオパークで あり続けるための取り組み

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジオくん」

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジーナちゃん」

☎ 0957 (65) 5540

ジオサイト[®] ~島原半島に暮らしていた縄文人の営み~「大野原遺跡展示館・縄文の里」



土器を造った跡のレプリカを見学する小学生
(大野原遺跡展示館・縄文の里)

「大野原遺跡展示館・縄文の里」は、有明総合文化会館(グリーンウェーブ)の中にあります。大野原遺跡は有明総合文化会館の建設予定地で見つかったもので、平成8(1996)年から約2年間に渡り行った発掘調査の結果、この地には今から約3千~4千年前にあたる縄文時代後期の人たちが暮らしていたことが分かりました。

発掘調査では、遺跡から土器の材料となる粘土を貯蔵した場所(粘土貯蔵穴)や、地面が赤く焼けた場所(焼土)が多数見つかりました。これらは土器を造った跡です。有明付近の地表にみられる黒土(クロボク土)は土器を作るには適しておらず、縄文人は川の流れて削られてできた崖から粘土の地層を見つけ出し、大野原まで運んで保管していました。

雨が少ない時期になると、粘土貯蔵穴から粘土を取り出し、作業小屋で土器の形に整えた後、草や泥で窯をつくって土器を焼いていました。これらの土器の材料となる粘土の地層は、数万年間にも及ぶ年月がつくった地球からの贈り物です。

館内には、出土した本物の土器片や石器、土偶、石鏝など、先人たちの生活道具が多数展示されています。これらの出土品を見ると、私たちの先祖は、海にも山にも近いこの地で、時に眉山の噴火に対峙しながら、狩りや漁をし、採ってきた木の実を自らが作った土器で煮炊きしながら、生活を営んできたことが想像できます。島原半島に暮らす人たちは、何千年もの昔から、「ジオの恵み」を利用していたのです。

今回は「ほっとふっと105」を紹介します。

**第6回 島原半島
ユネスコ世界ジオパークセミナー**

11月26日(土) 午前10時~正午

ほがまだすドーム セミナー室

内題目…自然災害を実験で考える

●講師…長井 大輔氏(雲仙岳災害記念館展示運営主任)

☎島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540

参加無料



フランチのイタリア文化講座

受講生募集

「Andiamo in Italia! = イタリアへ行きましょう!」

イタリアからの国際交流員フランチェスカのイタリア文化講座を開催します。

今回はイタリアへ行く時に役に立つ情報や、簡単なイタリア語の表現をフランチと一緒にイタリアに行っているような気分です。

- 11月24日(土) 午後7時~8時30分
- ありえコレジヨホール(2F大会議室)
- 25人(先着順)
- 無料
- 11月15日(火) 午後5時
- 電話、FAX、Eメールで申し込んでください。



企画振興課 ☎050(3381)5030 FAX0957(82)3086 Eメール: chiikiseisaku@city.minamishimabara.lg.jp

教えて!国民年金 ~「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」は大切に保管を!~

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。

この控除を受けるためには、納付したことを証明する書類(「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」)を年末調整や確定申告時に添付する必要があります。

証明書は、11月中に日本年金機構から送付されますので、大切に保管してください(ただし、10月1

日から12月31日までに、その年にはじめて国民年金保険料を納付した人には、翌年の2月上旬に送付されます)。

なお、家族の国民年金保険料を納付した場合も、納付した本人の社会保険料控除に加えることができます。申告する場合は、家族分の控除証明書を添付して申告してください。

*詳しくは、年金事務所または市役所 日本年金機構 南島原市 保険年金課 ☎0957(25)1662 保険年金課(各支所)へお尋ねください。 ☎050(3381)5039 または 各支所